

契約当事者市町別の相談件数

令和元年度（平成31年4月～令和元年12月）

市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比	市町名	R元年度件数	H30年度件数	増減	対前年度比
津市	331	398	-67	83.2%	朝日町	20	18	2	111.1%
四日市市	172	179	-7	96.1%	川越町	21	26	-5	80.8%
伊勢市	74	104	-30	71.2%	多気町	21	32	-11	65.6%
松阪市	138	168	-30	82.1%	明和町	39	52	-13	75.0%
桑名市	103	118	-15	87.3%	大台町	12	17	-5	70.6%
鈴鹿市	119	138	-19	86.2%	玉城町	19	34	-15	55.9%
名張市	63	91	-28	69.2%	度会町	8	4	4	200.0%
尾鷲市	20	20	0	100.0%	大紀町	12	12	0	100.0%
亀山市	41	57	-16	71.9%	南伊勢町	15	16	-1	93.8%
鳥羽市	13	15	-2	86.7%	紀北町	23	17	6	135.3%
熊野市	25	22	3	113.6%	御浜町	7	7	0	100.0%
いなべ市	33	50	-17	66.0%	紀宝町	14	14	0	100.0%
志摩市	44	42	2	104.8%					
伊賀市	68	81	-13	84.0%	県内不明	44	20	24	220.0%
木曾岬町	19	9	10	211.1%	県外・不明	60	81	-21	74.1%
東員町	27	38	-11	71.1%					
菰野町	50	49	1	102.0%	合計	1,655	1,929	-274	85.8%

相談件数は、県センターの所在地である津市が最も多く、続いて、四日市市、松阪市、鈴鹿市、桑名市の順になっています。

※消費生活苦情相談件数のみの集計です。